

こうりん



久留米市善導寺町の大本山善導寺にある徳川家康公の墓です。
田中吉政によって建立されました。家康も浄土宗の僧侶でした。

内 容

- ・大施餓鬼法要のご案内
- ・お盆の迎え方
- ・お施餓鬼について
- ・院号授与式
- ・無量寺混声合唱団へのお誘い
- ・説 相 箱
- ・作ってみよう精進料理
- ・お知らせ

遅い梅雨入りでした。
民の心を安らかならしめるというのが、
政治の心ばえだと思いますが、年金問題
など不安におとしめているのが現状のよ
うに思われます。天地の理法を忘れた人
間の所業は、害あって利なしと言えるの
ではないでしょうか？
聖地（寺や神社の境内など）さえ汚して、
平気でいられる人の世は、人生の目的で
ある幸福の世とはかけ離れているのかも
知れません。
古代の日本人は、清々しい気持ちにな
ることをとても大事にしていました。
今年の水天宮の花火大会も、また、ゴ
ミの山が築かれるのでしょうか？

大施餓鬼法要のご案内

檀信徒各位

聖 名 いよいよ酷暑三伏の候と相成りました。

貴家ご一同様お変わりもなくお過ごしのことと拝察申し上げます。

平素、当山興隆のためには格別のご協力を賜りまして、誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

さて、例年の大施餓鬼法要を久留米市浄土宗門中寺院ご出仕のもとに下記の通り、相つとめますので、何卒お繰り合わせご参詣下さいますよう、右ご案内申しあげます。

合 掌

平成 19 年 7 月 上浣

無量寺住職 堤 俊翁 拝

※ 日 時…7 月 15 日（日曜日） 午後 1 時よりご回向
2 時より法話

※ 布教師……（佐賀県神崎町 浄円寺）藤野 良海 師

※ ご回向料…特別塔婆回向………1 霊 5,000 円以上

※今年初盆を迎えられるご先祖様

※また特に志される霊位

（塔婆を持ち帰ってお盆までお家でお祭り下さい。）

普 通 回 向………1 霊 1,000 円以上 ご志納下さい。

特別塔婆回向を申し込まれる方は、塔婆を書く時間が必要ですので、前もって申し込んでいただきますようお願い致します。 7 月 10 日迄にお願いします。

お申し込みは郵送、ファックスでも結構です。 FAX0942-32-2701

※ 駐車場 法要当日は幼稚園園庭を駐車場として解放します。

初盆を迎えられるお宅へ



7 月 15 日の大施餓鬼法要では今年初盆を迎えられる御霊の特別回向を行います。

志されるお宅の方は前もって申し込みして頂きますようお願いいたします。

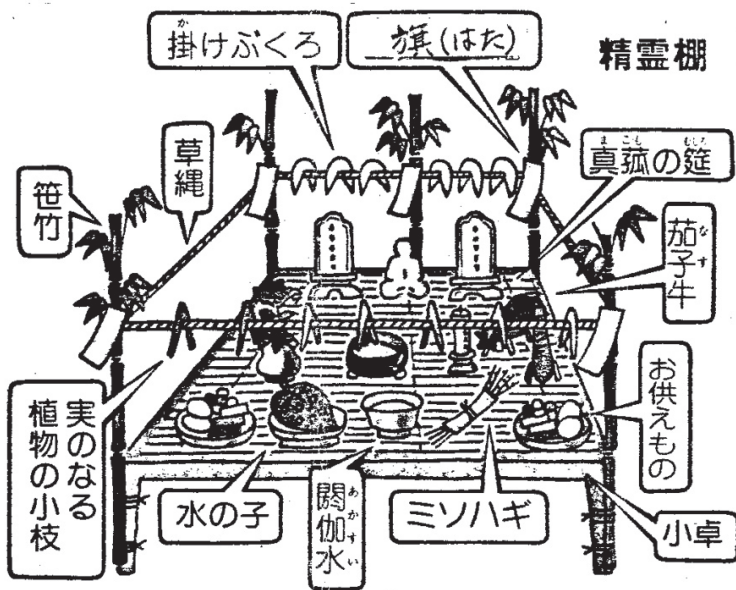
当日、回向、焼香の後、塔婆をお渡ししますので、お家に持ち帰って頂き、初盆の精霊棚に祭って御霊をお迎え下さい。

お盆が済みましたら、お寺へお持ちになって下さい。お寺でお炊き上げします。

（以前は精霊船に乗せて流したものです。）現在は 15 日の夜、水天宮下の筑後川で、流し灯籠をたくさん流されています。

□ TEL 0942-32-3010 ご回向料は当日受付でお願いします。

※初盆のお詣りは後日ハガキにて日時をお知らせします。久留米市外の方は 13 日より前になることもありますので、ご了承下さい。



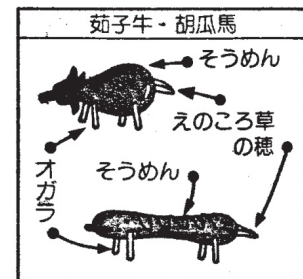
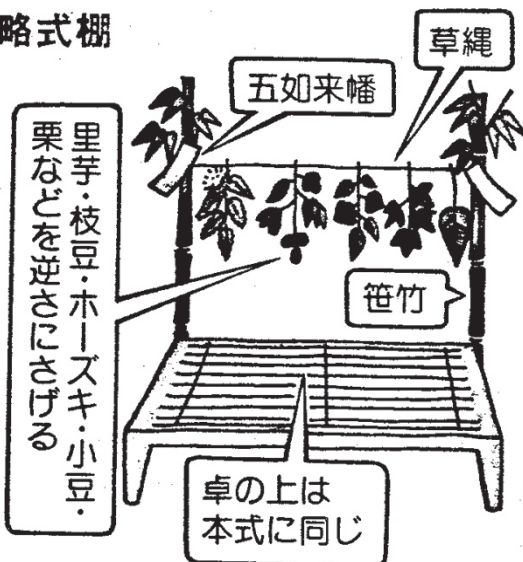
お盆の精霊棚

精霊棚はお盆の間、ご先祖様がおられるところです。毎日、家族の食事の前には供養をし、それから、食事を始めるようにしましょう。

地方によっては、この間の献立が厳格に決められているところもあります。

普通はそこまでなくても、家族の食事の一部を供えたり、故人の好物を供えるということになるでしょう。

略式棚



ミソハギとは

ミソハギは高さ1m近くに成長する多年生草本。本州以南の沼地や田圃の周辺など、湿った明るい場所に生育する。全株無毛、茎は上部に至るほど四角形の断面となり、不明瞭な稜がある。葉は対生し、花弁は6枚。6月から8月のおわりにかけ、紅紫色の花を次々と付け、花期は長い。花弁はしわがよっている。よく似たエゾミソハギは毛があるので区別できる。



※精霊棚が普段の仏壇と違うのは、水の子（茄子とキュウリを細かく刻んで洗米と混ぜたものを蓮か里芋の葉に乗せる）と^{あかすい}関伽水（どんぶりに入れた供養の水）、それに茄子の牛とキュウリの馬を用意することくらいでしょうか。

※お参りの仕方

お参りする人は、ミソハギの束の先を^{あかすい}どんぶりの^{あかすい}関伽水に浸け、水の子に^{しやすい}ふりかけてから（洒水）、^{しやすい}拝むようにします。

ミソハギは他のもので代用できます。お盆に祭られる精霊棚（しょうりょうだな）は別名、盆棚、魂棚、先祖棚ともいい、お盆の間、ご先祖様が宿るところといわれています。

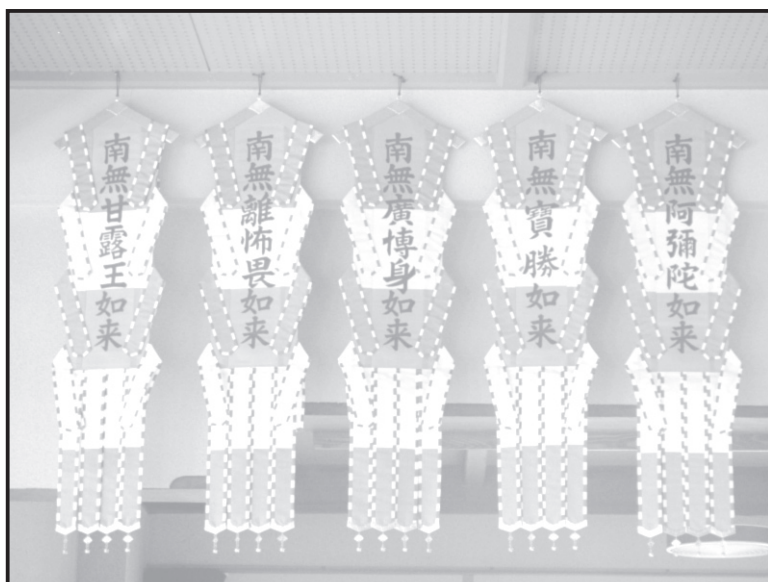
期間中の供養はここで行います。仏壇とは別にするのが一般的なやり方です。精霊棚は普通、10日から13日の朝までには作ります。

※新盆の家では、1日ごろから作ることもあります。

以上ごく一般的と思われることを説明しました。

せがきえ 施餓鬼会とは

餓鬼の為に諸種の飲食を施す法会で「施食会」とも、「冥陽会」ともいう。本来は別に期日を定めず、随時に修す法会であったが、いつのころから盂蘭盆会と混じり、盂蘭盆会るとき、またはその前後に行われ、餓鬼に施食する善根功德をもって、亡者の滅罪追福のために修せられるようになった。



その作法は供養壇を設け、五如来（あるいは七如来）の幡を懸け、壇上に三界万霊位牌を安置し、両側に新亡の位牌を並べ飲食などを供えて修するのである。

その壇は「施餓鬼棚」といい、幡は「施餓鬼幡」という。五如来とは宝勝如来（多宝如来）、妙色身如来、甘露王如来、広博身如来、離怖畏如来をいい、施餓鬼会はこの五如来を本尊として修するものであつて、その名号を称すれば、餓鬼をして滅罪生福、離苦得樂せしむることができるのである。

五如来

五如来の如来とは仏さまのこと。お施餓鬼の法要は五如来の幡をかけて修されます。幡は青、黄、赤、白、黒の五色です。この五色の幡に五如来の名が記されています。

青は空、黄は地、赤は火、白は水、黒は風の性質を表しています。

宝勝如来（多宝如来）

布施をせず、むさぼりの業をなしたため餓鬼世界で苦しんでいる者を救済し、円満ならしめる仏さま。この仏様は釈迦如来とともに多宝塔の中にまつられています。そして多宝如来と釈迦如来はもともと同一のもので、二体並座した仏様は、すべての人々を、永遠に救い続けることを象徴しているのです。

妙色身如来

阿閼（あしゅく）仏のことです。悪行業のため、みにくい身体、形相の餓鬼を救う仏さま。妙（美しい）なる色身（からだ）の仏さまです。施餓鬼供養すれば、供養する私たちもおだやかな表情になれるのです。「阿閼」とは「無瞋恚」と同じ意味で、怒みや怒りを抱かないことだとされています。東方世界に妙喜浄土をたてた仏さま。

甘露王如来

阿弥陀さまのことです。

餓鬼世界は苦しみの世界です。その苦しみを取り除き、身心を快樂なさしめていただける仏さま。甘露とは、身心をうるおわしてくれることです。阿弥陀さまが無量寿如来、無量光如来と呼ばれているのはこの仏さまの智慧（光）と慈悲（寿）が無量（かぎりない）ということの意味しているのです。

広博身如来

大日如来のことです。食べたくても、のどが狭くて食べることができない餓鬼の咽喉を大きくして飲食の楽しみを与えてくださる仏さまです。宇宙の生命、人間、天地のすべてを仏格化した仏さまです。

離怖畏如来

お釈迦様のことです。餓鬼世界では、餓鬼は恐怖に悩まされています。その恐怖を取り除いていただけます。

説相箱

江戸時代の豊かさ

江戸時代の先祖たちは、経済成長率が1%以下の状態で生きていたから、現代的発想では、非常に貧しい生活だった。ところが、当時の庶民生活を具体的に調べてみると、たいしてお金を持っていないのに、われわれが想像するほど生活に困っていたとは思えない。人のために動きまわって、自分の利益をあまり考えないようにも見えるが、貧しいのになぜそれだけに余裕があつて、しかも、あの輝かしい江戸文化を生み出したほど創造的になれたのだろうか。

お金が万能でなかった、あるいは、お金以外の価値観がいくつも並行してあつたからだろう。

江戸時代の人々は、金銭抜きに「お互いに何かをあずけ合っていた」のではないかと思う。仏教用語の「他力」とは、他人に何かをあずけることでなく、自分の中の仏にあずけることだ。宇宙の成り行きに自分にあずけることである。

他人に何かをやってもらふことを

期待するのではなく、成り行きにあずけるだけなのだ。必要とあれば、そこに人の手がさしのべられる。いつの間にか、自分が人を助けることもある。これは、無理に「私有」や「権利」、義務と言う考えを教え込まれたりしなければ、人間にとってはごく自然なバランス感覚なのではないかと思う。

助け助けられるためには、お互いに相手の様子がわかり合っている、と言うのも大切な条件である。逆に、お金を軸にして展開する現代風の「自立」で「自立」、孤立して生きる生活の基本には、人に見せない秘密の部分がある。それを、今は「プライバシー」と呼んでいる。「私の勝手」とも言う。お金以外にも価値基準がいくつもある社会なら、その中から好きな基準を選んで生きることが出来るが、お金が唯一の価値になれば、その唯一の価値観に合わせられない人は生き方や考え方に不自由を感じるようになる。それが現代の豊かさなのだ。

参考文献

講談社文庫 江戸ボランティア事情

作ってみよう精進料理

{浄土宗かるな} より

夏野菜の ミルフィーユ



材 料

胡瓜ゼリー 胡瓜 1本 水 300cc
寒天 2分の1本 砂糖 80g
トマトゼリー フルーツトマト 1個
水 300cc 寒天 2分の1本
砂糖 80g レモン 5分の1個
コーンソース スイートコーン 2分の1缶
水 100cc 砂糖 80g
バニラエッセンス 適量
片栗粉適量
レモン 5分の1個
レモン漬け レモン 1個 砂糖 100g
さつま芋のレモン煮
さつま芋 2分の1本
水 150g 砂糖 40g

作り方

1. レモンは輪切りにし、砂糖をまぶしておく
2. トマトは種をとり、ザク切り、胡瓜はすりおろす。トマト、胡瓜それぞれ水に砂糖、寒天を入れ火にかける。沸騰後、型に流して冷蔵庫で冷やす。
3. さつま芋は丸く型を抜いて、水、砂糖で茹でる。茹で上がった処に輪切りのレモン漬けを入れてすぐに火を止める。
4. コーンをジューサーでクリーム状にする。水に砂糖、コーン、レモン汁を入れ沸騰させる。その後、水溶き片栗粉を入れとろみをつける。
5. 器に丸く型を抜いたトマトゼリー、レモンを重ね、葉型に抜いた胡瓜ゼリー、さつま芋を添え、コーンソースをかけて出来上がり。

院号授与式



春彼岸の法要の折、6 名の方が院号をお受けになりました。



攝取院 吉田 宜香 殿



宝樹院 高木 敏子 殿



貞松院 川野 節子 殿



薫香院 國崎 静美 殿



良運院 川浪 弘恵 殿



妙香院 大塚 春子 殿

だるまさん

年間 5 回の法要（御忌、彼岸、施餓鬼、十夜）の法話、念佛講、14 日会等に参加された方に渡しています。
100 だるま以上集められた方には無条件で、お戒名に院号をお贈りします。お札に名前を書いて保管しておいて下さい。



念佛講 法要のない月の 25 日頃（午前 11 時より）に勤め、念佛、法話を行っています。

14 日会 毎月 14 日（8 月は休み）の午後 7 時よりお勤め、念佛、法話を行っています。

KALAVINKA(カーラビンカ) 無量寺混声合唱団

団員募集のお知らせ

檀信徒各位

無量寺 住職 堤 俊翁

昨年の秋の彼岸法要の折、音楽法要を行いました。浄土宗のお勤め（読 経）の歌を歌い、ご参詣の皆さんと一緒にうたうことができて、とてもなごんだ雰囲気の法要を勤めることができました。

その折、また聴かせてほしいというご希望の声もいただいていたいました。

その後、福岡や佐賀の浄土宗寺院でもこの音楽法要をさせていただき、続けていきたいと思うようになりました。そこで、今年の秋の彼岸にも音楽法要を行いたいと思っています。

就きましては、檀信徒のみなさんにもこの法要にもっと加わっていただきたいと思います、この度無量寺混声合唱団（カーラビンカ）を結成する運びとなりました。

（この会の目的）

- 1、無量寺本尊阿弥陀如来さまに、音楽法要を始めとして、仏教聖歌を中心に、美しい歌声を奉納することを、主目的とする。（毎年の彼岸法要などのへの出演）
- 2、団員各自が自ら持って生まれた天声を生かし、且つ他の団員との融和をはかり、共に生かされていることの喜びを分かち合う。音楽を通して人格を高めていく。

以上のような合唱団を作りたいと考えています。

檀信徒の方であればどなたでも入団していただけます。

（初心者の方歓迎）専門の講師に指導して頂きます。

男性にも大いに参加して頂きたいと思います。

練習日 毎月 2 回 第 1、第 3 土曜日 午前 10 時より 11 時 30 分まで
場 所 無量寺ホール
会 費 月 1,000 円（講師謝礼を含む、楽譜代別途）

募集人員 50 名程

※ 当面の目標として 9 月 23 日の彼岸法要の折、出演致します。

※ 参加申込、お問い合わせは無量寺まで

カーラビンカ (KALAVINKA) とは
お経に迦陵頻伽 (かりょうびんが) として出ています。
インドの神話に登場する、美声で鳴く鳥のことです。
「妙音鳥」「好声鳥」と意識されることもあるそうです。
極楽浄土で法を説く鳥とされ、美声ゆえに、
「仏の声」とも言われます。
卵の中にいるうちから、鳴き出すともいわれ、
その姿は、人頭鳥身、美術品としては上半身が翼を持つ菩提形、
下半身は鳥の姿とされます。
お経の中にも、「極楽より舞い降りたる鳥」として
表現されています。





六月十八日、お念佛講の皆様方と、八女郡黒木町の宗真寺様へお詣りに行ってきました。心地よい風が吹き渡り、歴史を感じさせる本堂で、小川泰然ご住職のお話を伺いながら、一昔前の無量寺に思いをはせました。庫裏で、お茶を頂いた時には、実家が宗真寺のお檀家である、女優の黒木瞳さんの話に花が咲きました。帰りに、グリーンピア八女の満開のあじさいに心洗われる思いの一日でした。



今回もたくさんのカードをよせていただきました。

FM福岡放送局を通じて、国際協力機構へ送らせて頂きます。



使用済みのカードはありませんか？

使用済みのプリペイドカード（テレフォンカード、ハイウェイカード、バスカード、JRカードなど）がありましたら、お寺へ御持参下さい。

独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じて、世界中の子供達の医薬品や医療器具などを購入するための資金を得る活動に役立てていただきます。

世界中のカード収集家に販売してその収益が当てられます。

写真や絵など図柄が美しいものが、喜ばれます。

香林山 冷智院 無量寺
機関誌 こうりん

第 48 号 平成 19 年 7 月 1 日発行

〒 830-0044 福岡県久留米市本町 8-4
TEL 0942-32-3010 FA0942-32-2701
郵便振替口座 01750-7-16114
URL <http://www.muryoji.net>
E-mail info@muryoji.net